

## 謝 辞

本研究ならびに本稿は、多くの方々の御助力により完成に至った。以下に記し、謹んで感謝の意を表したい。

東京農工大学農学部野生動物保護学研究室丸山直樹教授には、本論文の執筆にあたり終始懇切な御助言及び御指摘を頂いただけではなく、自然保護学の基本的理念、研究者としてのものの考え方、態度など多岐にわたりご教授いただいた。同研究室神崎伸夫助教授には、イノシシの研究に身を投じるきっかけだけではなく、本研究の遂行にあたり熱心な御指導を頂いた。また、日々生活を共にしていただき研究生活において常に叱咤激励を頂いた。東京農工大学淵野雄二郎助教授、宇都宮大学小金澤正昭教授、茨城大学松澤安夫教授、東京農工大学千賀裕太郎教授、東京農工大学名誉教授安富六郎先生には、学位審査に際して数多くの御指摘、御助言を頂いた。ここに厚くお礼申し上げます。

財団法人自然環境研究センター研究主幹常田邦彦氏には、イノシシの捕獲、サンプル収集にあたり多大な御助言、御助力を頂いた。本論文2章並びに3章は、氏の御助力無くして完成しなかった。金子雄司氏(当時東京農工大学大学院農学研究科)には現地調査や試料分析、データのとりまとめ、文献収集等多大な助力を頂いた。本論文第2章は氏との共同研究である。

現地調査及びイノシシの捕獲・内蔵サンプル収集では羽部学氏・近重秀

友氏・故湯浅雪晴氏・道岡和夫氏・道岡芳弘氏ほか浜田市猟友会の方々，島根県瑞穂町産業課大田文夫氏，島根県瑞穂町猟友会田中幸夫氏に御協力いただいた。特に近重秀友氏には調査地での生活の便宜も図っていただいた。また，調査の実施や情報収集にあたり財団法人自然環境研究センター，島根県猟友会，島根大学生物資源科学部助手山本伸幸博士，島根大学教育学部講師作野広和博士，島根県中山間地域研究センター笠松浩樹博士，藤山浩氏，NOSAI島根，島根県森林整備課，島根県浜田農林振興センター農村林業部，中国四国農政局島根統計情報事務所，浜田市経済部農林課に御協力いただいた。富山県中央植物園主任研究員山下寿之博士，Eric BAUBET博士には，現地調査について御助言を頂いた。

須田知樹博士（当時東京農工大学大学院連合農学研究科）には現地調査について御助言，御助力を頂いただけでなく，文献収集の労を執って頂いた。今木洋大博士（当時東京農工大学大学院連合農学研究科）にはテレメトリー調査において技術的な御指導をいただいた。野生生物保護管理事務所の方々には吹き矢の作成及び麻酔の使用についてご指導いただいた。

菊池晴子氏（東京農工大学大学院連合農学研究科），原田正子氏（東京農工大学大学院農学研究科），居村純子氏（当時東京農工大学大学院農学研究科），皆川晶子氏（筑波大学），鶴野レイナ氏（当時慶応大

学), 会田健太郎氏, 鬼久保浩正氏, 中村清子氏, 増永望美氏, 興梶修氏, 石井暁子氏, 石黒夏美氏, 大塚啓一郎氏, 勝間田真理子氏, 河野愛子氏, 徳永真知子氏, 楓慶一氏(以上当時東京農工大学農学部), 金井美代子氏, 大下麻子氏, 山崎千恵子氏, 森本英人氏, 福本真智子氏, 大橋春香氏, 上野岳人氏, 安井敬子氏, 日野宗一郎氏, 渡部恵司氏, 吉田咲子氏, 安田裕子氏(以上東京農工大学農学部)には現地調査並びに分析をお手伝い頂いた。上田剛平氏, 竹鼻悦子氏, 若林史子氏, 服部仁美氏(以上東京農工大学大学院農学研究科)には文献収集の労を執って頂いた。なお本研究は環境庁「特定地域野生鳥獣保護管理マニュアル策定調査」及び(社)国土緑化推進機構「緑と水の森林基金」より資金援助を受け実施された。